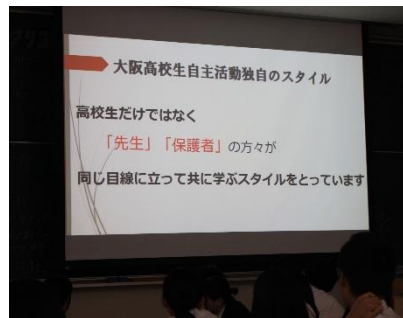


大私教青年部ニュース

2018年10月
NO.42(今年度12)
発行：青年部事務局

全国父母懇、全国高校生交流集会！

台風一過の秋晴れであった10月7日と8日、福岡県で私学助成をすすめる会主催の全国父母懇と全国高校生交流集会が行われました。この集会は全国から教職員、父母、生徒が集まり、私学助成をすすめる運動を再確認するものです。大阪からは総勢24名の参加となりました。青年部の教員も2名参加し、高校生交流集会に参加したのでその内容を報告したいと思います。



全国高校生交流集会へは大阪から2校5名の生徒が参加しました。毎年生徒も参加しているこの交流集会、今年は複数校での参加を達成することができました。渋滞などのハプニングもありながらなんとか会場である福岡女学院に着きましたが、ついてすぐレポート発表が！「私学生の生の声」ということで大阪の生徒自主活動の今までの取り組み、何を大切に行ってきたのかということを立てに報告し

てくれました。報告の中で生徒がみんなに伝えた「生徒、教員、保護者が同じ目線で学ぶということ」を大阪の生徒自主活動では一番大切にしている」「高校生は微力だけれども無力ではない」という言葉はこの後ほかの先生や生徒の報告でも引用されるほど反響が大きく、大阪の生徒自主活動の実態を全国に報告することができました。その後全国高校生自主活動顧問団の先生から基調報告があり、生徒たちは大阪の置かれている現状、全国との違いを感じ取ることができたのではないのでしょうか。

夕食を挟んで、グループ討議が行われました。全国の生徒とつながることができる貴重な場、基調報告を聞いての感想や各県、各校の様子などを聴き、自分の学校や大阪に持ち帰ろうと考えたものも多くあったようです。生徒たちの議論にも熱が入り、他県の取り組みから吸収しようとする貪欲な姿勢は見ていた私たちにも大きな感動を与えてくれました。ちなみに、この頃全国父母懇では交流会が行われ、こちらも全国の保護者や教職員とつながる良い機会になっていました。



二日目最初のプログラムは分科会。4つのテーマに分かれ、レポートを聞き討議を行いました。テーマは「学費・私学助成運動」という少し難しいテーマから「行事づくり」と

いった普通の学校でも取り入れることができるようなテーマまで設定されていて、生徒たちも積極的に発言をしていました。中には、同じ「学習会」というものでも形式が全く違うことを初めて知り、自分たちの活動になんとか取り入れることができないかと考えている生徒もいました。

その後、全員で集まり、「模擬国民投票」を行いました。この活動は今後行われるかもしれない国民投票を見据え、自分たちで憲法のことをもっとしっかり学習しようと生徒たちが企画したものです。普段なかなか考える機会が少ない憲法について、しっかり学び、実際に投票を行いました。感想の中で「投票用紙に記入する際、ペンがとても重く感じた」と語っている生徒もいて、実際に体感することの大切さを再確認することができました。



閉会集会は全国父母懇と合同で行われました。高校生も自分たちの学んできたことを壇上で報告し、学びの成果を大人にしっかりと報告していました。

今回5名でいくことができた大阪の生徒自主活動ですが、実際に生徒と接していて私たちも多くのことを学ばされました。普段大阪の中で活動しているだけでは感じるできない他県との差、自分たちがやっている活動が全国でどのような意味を持つのかなど生徒たちは教員が考えているよりずっと学びに積極的で真剣です。自分の高校だけではなくほかの高校と、自県だけではなく全国と、つながることで生徒たちの学びがぎゅっと深くなることを実感することができた全国高校生交流集会でした。

～秋の企画～

秋は企画が目白押しです！

- ① 10月28日 大阪私学デー at 堺市総合福祉会館 10時～
私学助成や、教育と憲法など一緒に学びませんか？生徒交流会もあります！
- ② 11月25日 青年部レク企画「大阪メトロ乗り放題、大阪マル秘ツアー」at 大阪市内
集合は15時に新谷町第二ビル前。持ち物は大阪メトロエンジョイエコカードです。
普段あまり気にすることのなかった大阪の魅力を再確認してみませんか？

皆さんとお会いできることを楽しみにしております！